



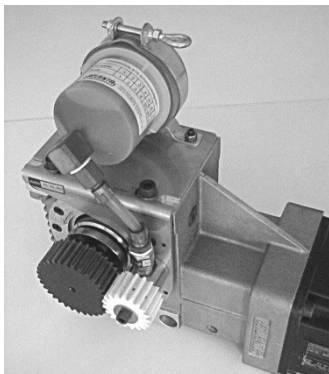
ATLANTA

潤滑ユニット 取扱い説明書

BKI 102 e

4100-001-04/93

Department	TB	Electronically controlled lubricators 125 cm ³ - battery-operated 適用型式 : 65 91 000; 65 91 004; 65 91 009	Page	1	1
Rev. Index	B		Name	Schell	14.10.03
Date	15.08.06		released	TB/Lorch	14.10.03



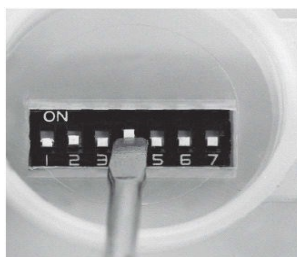
機能:

- 精密完結潤滑装置
- 起動、停止機能付き
- グリースの吐出量はマイクロスイッチにて設定
- 自動吐出圧力機構
- 防爆機構
- PTB;BVS and CE 検定済み
- 組み付け方向 : 任意

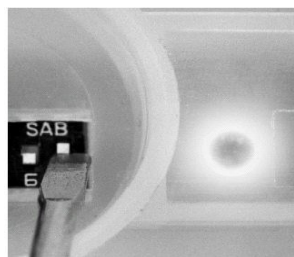
設定:



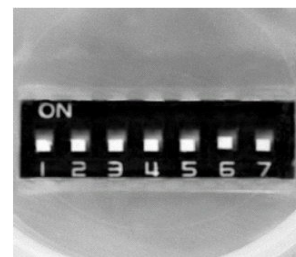
保護キャップを外し
潤滑ユニットの
スイッチを入れる。



吐出量を決め
DIP スイッチを
設定する。

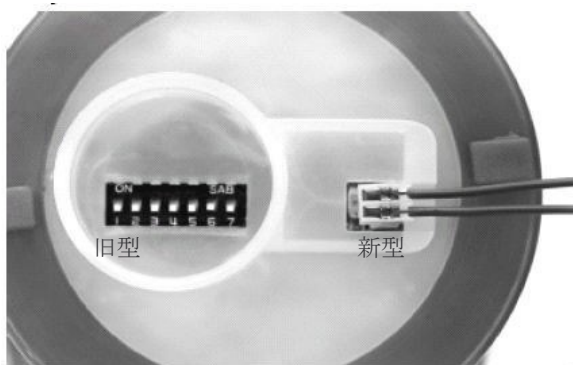


DIP スイッチ 7 を入れる。
インジケーターが
約、20 秒点滅する。

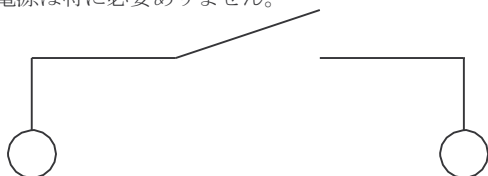


全てのスイッチ
を下げ、電源を
切る。

機械本体の動作時間と同期させる場合 :



コンタクトブリッジはナットになっており、ケーブルと
浮いた状態で結線されています。新型はねじとケーブル
がプラグインされています。
外部電源は特に必要ありません。



新型: 白/青
同期させるための結線は浮いている接点に繋がります。

特徴:

潤滑時間及びスイッチの動作タイミングの設定
が可能です。(各スイッチ設定方法を参照。)

長期の使用が可能です。

バッテリー能力 : 2600mA 作動にて
約 1 年間

25 microampere x 8640 h = 216 mA
インジケーター点滅

8 microampere x 8640 h = 69 mA
年間消費量 = 285 mA remove

注意点:

潤滑ユニットを使用する前にホースに潤滑油を封
入し、フェルトピニオンに潤滑油を吸い込ませて
下さい。
グリースの使用状況は透明の本体にて目視にて確
認できます。
また、潤滑油が無くなった場合、シグナルが点滅
します。

オプションにより潤滑油モニターがあります。



ATLANTA

潤滑ユニット 取扱い説明書

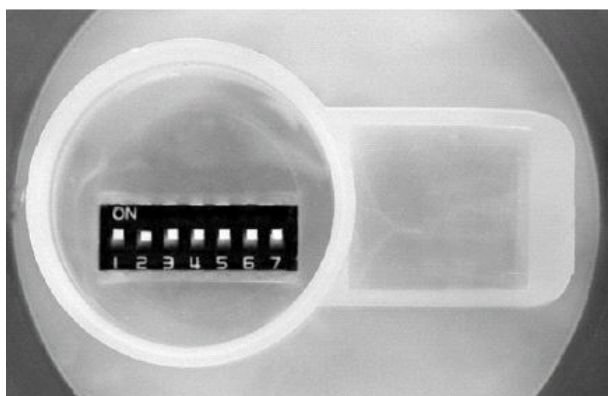
BKI 102 e

4100-001-04/93

Department	TB	Electronically controlled lubricators 125 cm ³ - battery-operated 適用型式 65 91 000; 65 91 004; 65 91 009	Page	2	2
Rev. Index	B		Name	Schell	14.10.03
Date	15.08.06		released	TB/Lorch	14.10.03

圧力の設定時間:

バッテリーが窒素ガスの充填された圧力チャンバーの内部圧力を上昇させベローズを押し出すまで数十秒かかります。この圧力チャンバーは潤滑ユニットを使い切った際に併せて交換します。



オペレーションタイムを設定し、本機を必要な場所に組み込むだけで使用が可能です。内部圧力上昇の準備時間は下記の通りです。

使用月間の設定	1	2	3	6	12	18
ディップスイッチ	1	2	3	4	5	6
圧力上昇時間	1	2	3	6	10	14

適切に圧力が上昇した後に潤滑がスタートします。また潤滑ユニットを停止させても圧力は保持され、ユニットのスイッチを入れた時には直ぐに潤滑がスタートします。

潤滑ユニットの起動、安全の確認

全てのスイッチを“ON”に設定する。

圧力の上昇時間は約、6 - 8 時間です。

その後、スイッチを要求の動作時間に設定して下さい。シグナルライトが点滅を始めます。圧力の上昇は目視で確認しマーキングをしてください。必要に応じてマークを下方に下げてください。

注意事項:

使用環境温度: -20 °C ~ +50 °C
防爆の保護はされていません。

潤滑ユニットの設定方法

DIP スイッチ位置	1 日当たり潤滑量	潤滑時間
7 = スイッチ „ON” - シグナルの点滅が早くなります。		
6 = 18 M	0.175 cm ³	18 months
5 = 12 M	0.35 cm ³	12 months
4 = 6 M	0.70 cm ³	6 months
3 = 3 M	1.30 cm ³	3 months
2 = 2 M	2.10 cm ³	2 months
1 = 1 M	4.00 cm ³	1 month
全てのスイッチがオン	9.00 cm ³	14 days
Combinations:		
5 + 4	1.05 cm ³	121 days
5 + 3	1.74 cm ³	71 days
4 + 3	2.08 cm ³	57 days
5 + 4 + 3	2.35 cm ³	52 days
5 + 2	2.45 cm ³	51 days
4 + 2	2.60 cm ³	45 days
3 + 2	3.48 cm ³	35 days
5 + 3 + 2	3.83 cm ³	30 days
4 + 3 + 2	4.16 cm ³	28 days
5 + 4 + 3 + 2	4.53 cm ³	27 days
4 + 1	4.80 cm ³	24 days
3 + 1	5.56 cm ³	23,5 days
2 + 1	6.26 cm ³	20 days
5 + 2 + 1	6.61 cm ³	19 days
3 + 2 + 1	7.65 cm ³	17 days
5 + 3 + 2 + 1	8.00 cm ³	16 days
4 + 3 + 2 + 1	8.33 cm ³	15 days
5+4+3+2+1		リセット

備考:

潤滑ホースは 1.5 m ~ 5 m の間で使用が可能ですがこの時、潤滑剤の粘度に依り潤滑剤の吐出

量に変化するためにチャートは参照できません。3 ページの補正係数を参照してください。潤滑剤が封入されている時の圧力抵抗が少ないので、0.2 bar のチェックバルブを使用して下さい。

技術データ

供給電圧 (2 x 1.5V) 3V
BSV 03 ATEX E 223

標準タイプ: Varta Electric Power 8008 for
Groups I and IIC T 3

特殊タイプ: Varta Industrial Mignon / AA for
Groups I and IIC T 4

II 2G EEx ib IIC T4/T3
M2 EEx ib I



潤滑ユニットと同期させる場合の保護機能ははりません。

			BKI 102 e		
			4100-001-04/93		
Department	TB	Electronically controlled lubricators 125 cm ³ - battery-operated 適用型式 : 65 91 000; 65 91 004; 65 91 009	Page	3	3
Rev. Index	B		Name	Schell	14.10.03
Date	15.08.06		released	TB/Lorch	14.10.03

潤滑油吐出量の補正係数:

ホース長さ mm	機械本体と同期の場合、 f _{sy}	ホース接続セット f _{SR}
<200	1,25	1
>200	1,25	1,16

潤滑装置を機械本体の動作と同期させない場合
係数 f_{SR}を参照してください。

温度係数 ft:

Temperature range	Microlube GB O	Structovis AHD
-20 +15°C	2	1,5
+15 +35°C	1	1
+35 +50°C	0,5	0,7

備考 :
補正係数は弊社経験値に基づき設定しておりますが、
必要に応じて変更してください。

例:

モジュール 2 のラックを使用し搬送スピード v =1.5/s にて潤滑用フェルトピニオンと潤滑油 Kluber Structovis AHD.を使用した場合、下記のパラメーターを考慮してください。
 - 潤滑剤は 6 0 0 mm長さのホースを介してフェルトピニオンへ供給されます。
 - 潤滑装置は機械本体と同期されます。

- 環境温度 : 1 0 °C

フェルトピニオンの吐出潤滑量の表を参照すると必要吐出量は
0,35cm³ です。

この値から必要な潤滑油の量は表の係数を考慮し、以下のように計算されます。

$$0,35 \times 1,16 \times 1,25 \times 1,5 = 0,76 \text{ cm}^3$$

表の設定量 ,
0,7 cm³ , が所要吐出量につき
DIP スイッチ 4 を選択します。